

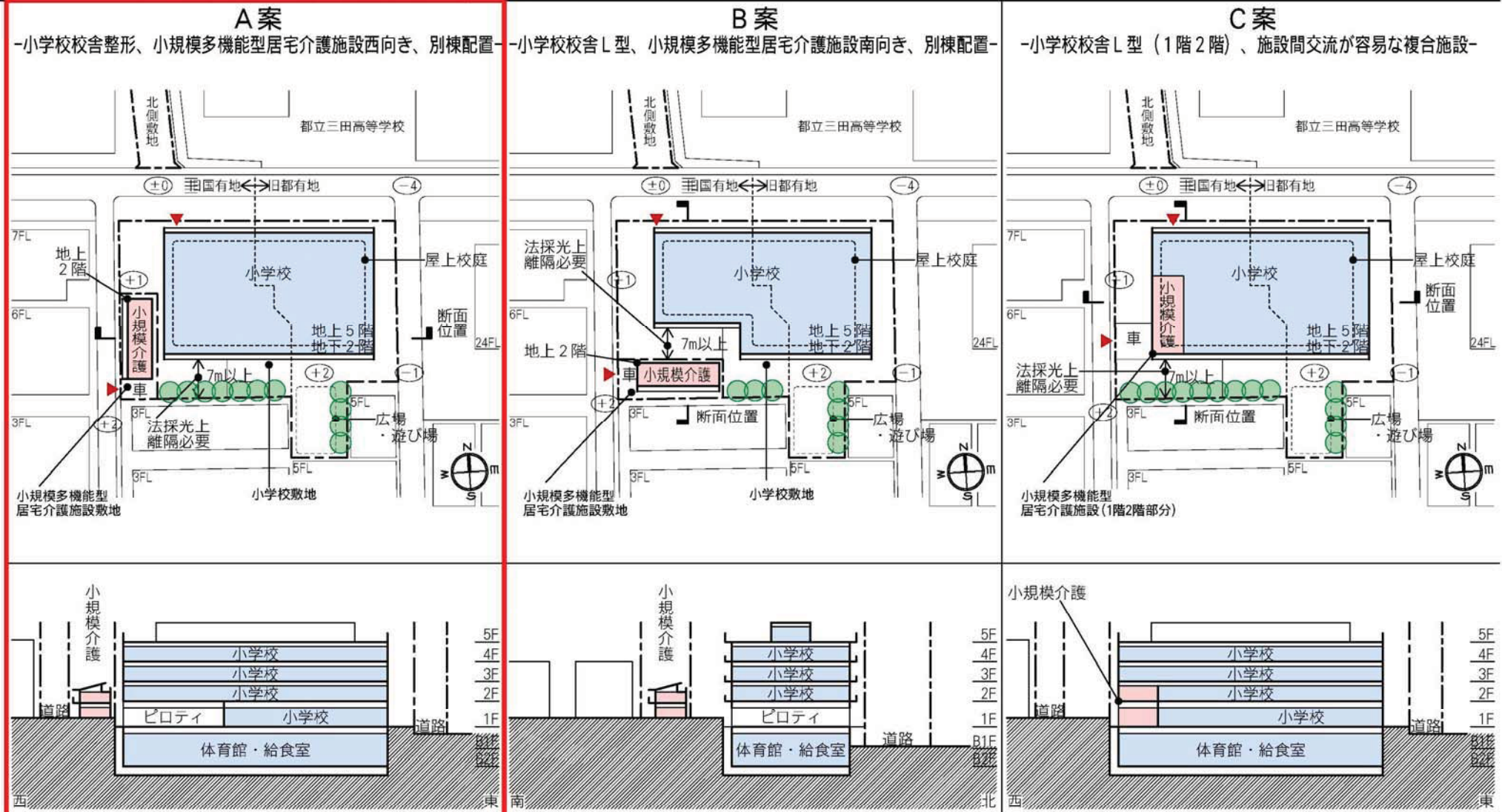
南側敷地 配置比較表

前提条件: 旧都府地は、小学校用地として活用する土地売買契約時の条件があるため、小規模多機能型居宅介護施設は、旧国有地内に配置する前提で検討

■敷地面積 4,203.91㎡  
敷地分割の場合  
3,868.91㎡ (小学校敷地)  
+335㎡ (小規模多機能型居宅介護施設)

■計画内容…全案共通

凡例 想定規模  
小学校校舎 約11,000㎡  
小規模多機能型居宅介護施設 (小規模介護) 約400㎡



①安全性	校舎環境	◎ 整形で出隅なく、見通しが良いため、安全性が高い	△ 不整形のため、出隅が発生し、見通しが悪い	△ 学校部分が不整形で、出隅が発生し、見通しが悪い
	歩車分離 (動線)	○ 児童と送迎車の動線が明確に分離	○ A案と同じ	○ A案と同じ
②教育活動、交流、連携	接道条件への配慮	○ 周辺道路高低差のため主要出入口位置が限定	△ 小規模多機能型居宅介護施設の間口が狭くアプローチがA案よりも限定	○ A案と同じ
		○ ピロティ等での、施設間の交流が可能	○ A案と同じ	○ 各施設が一体のため、施設間の交流が行いやすい
③環境	教室数	◎ 整形で教室数を最大限確保できる	△ 不整形のため、教室数の確保に制限がある	△ 学校部分が不整形のため、教室数の確保に制限がある
	校庭広さ・環境	○ 整形で使いやすい広場・遊び場	○ A案と同じ	○ A案と同じ
④管理運営	屋上校庭	○ 整形で使いやすい屋上庭園・軽運動スペースを確保	△ 屋上庭園、軽運動スペースが不整形	○ A案と同じ
		◎ 各施設が独立し、管理運営が行いやすい。将来の各施設の改修時に、施設相互に影響がなく、自由度が高い	◎ A案と同じ	○ 各施設が一体のため、管理運営上の制約がある。将来の各施設の改修時は、施設相互に影響するため、制約がある
⑤小規模多機能型居宅介護施設	施設環境	○ 施設の間口が広く確保できるが、西向き部屋が多くなる別棟のため通風採光が取りやすく、かつ管理運営が行いやすい	△ 日当たり良い南向きの部屋を多く確保できるが、施設の間口が狭い別棟のため通風採光が取りやすく、かつ管理運営が行いやすい	△ 西向き向きの部屋が多いが、施設の間口が広い施設が一体のため、通風採光の制限、管理運営上の制約がある
	開設時期	○ 別棟とすることで、小規模多機能型居宅介護施設の早期開設が可能	○ 別棟とすることで、小規模多機能型居宅介護施設の早期開設が可能	△ 施設が一体のため、小規模多機能型居宅介護施設の開設は学校の開設時期と同じ
⑥近隣配慮	小学校	・ 屋上、窓からの俯瞰、お見合い対策	・ A案と同じ	・ A案と同じ
	施工	・ 工事中の騒音、粉塵対策	・ A案と同じ	・ A案と同じ
⑦コスト		・ A案、B案、C案とも建設費はほぼ同等	・ A案、B案、C案とも建設費はほぼ同等	・ A案、B案、C案とも建設費はほぼ同等
総合評価		◎ 整形かつ施設ごとの独立性に優れ、安全性、管理運営、教育活動が行いやすい、良好な環境を整備できる	△ 施設ごとの独立性に優れるが、校舎が不整形で使いにくく安全性や教室数の確保が課題	○ 施設間の交流促進が期待できるが、管理運営上の課題がある

備考 ※ 評価項目は3段階で評価 ◎良 ○可 △難あり

北側敷地 配置比較表

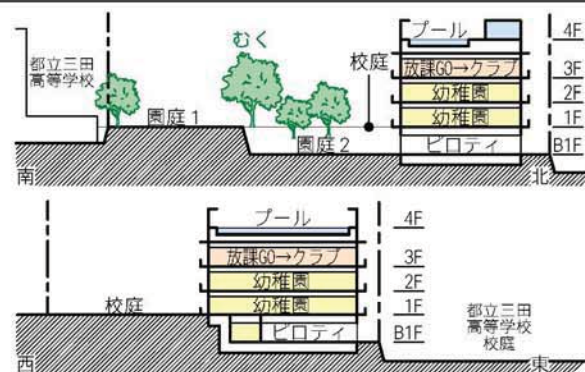
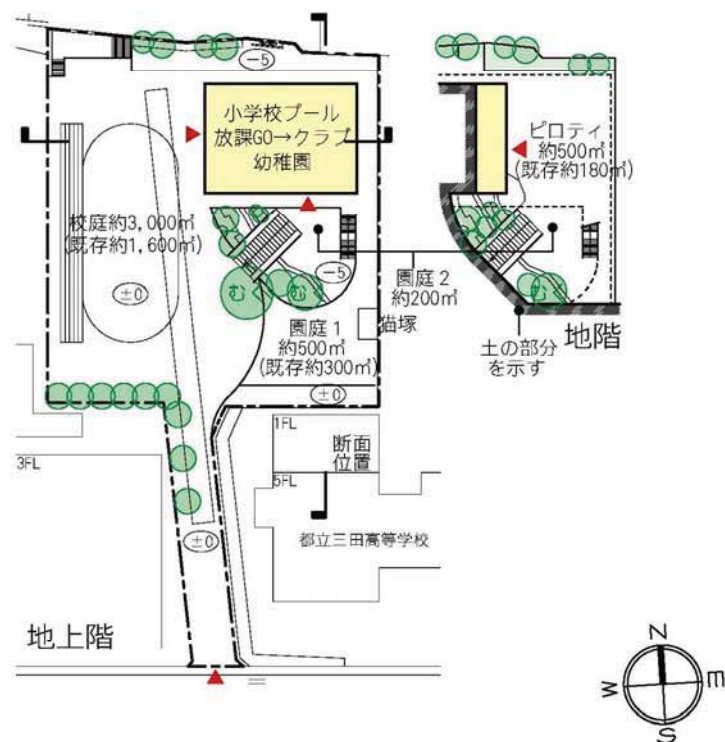
前提条件 敷地内の地形・猫塚、むくの木など、既存の豊かな景観を継承。また、広い校庭を確保するため、校庭は敷地西側配置を前提に検討。さらに湿気対策及び雨天時利用を考慮し、ピロティを確保。

敷地面積 6,961.29㎡

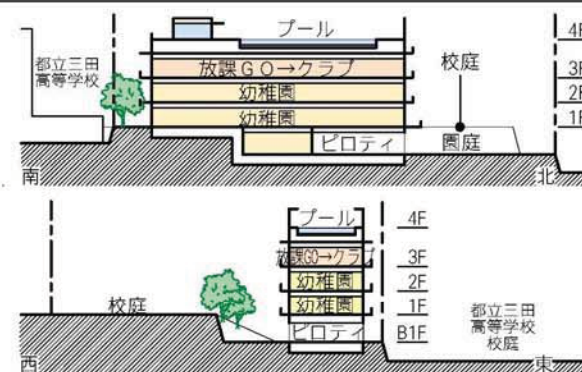
計画内容…全案共通

凡例	想定規模
小学校プール (関係諸室含む)	約 200㎡
幼稚園園舎	約1,400㎡
放課GO→クラブ	約 900㎡

A案(建物北側配置・整形プラン)  
—むくの木やくぼちを豊かに残した  
見通しの良い安心安全な環境—



B案(建物南側配置・L型プラン)  
—小学校と近い園舎、まとまった広い園庭で  
幼小の連携を高める環境—



①安全性	○ 道路からも園舎からも敷地全体の見通しが良い	○ 校舎と園舎が近く、職員室間の動線が短い
②歴史・自然の継承	○ むくの木や猫塚を保存しやすい	△ むくの木や猫塚が校舎に近接し、環境が良くない (むくの木の本は伐採が必要)
③幼小連携	△ 小学校との距離が遠くなるため、連携に課題あり	◎ 小学校との距離が近く、連携がしやすい
④小学校の運用	△ プール使用時の休み時間での移動負担が大きい	◎ プール使用時の休み時間での移動負担が小さい
⑤保育環境(園庭)	○ 高低差のある2つの園庭をつくることできる	○ 約700㎡のまとまった園庭が確保できるが、日当たりに難あり
⑥三田高校の日影の影響	○ 三田高校の校舎により「園庭」が一部日影となる (冬季の間のみ)	○ 三田高校の校舎により「園舎」が一部日影となる 「園庭」には、一部園舎の日影が生じる
⑦施工性	○ 建物周辺に空地が多く、施工しやすい	△ むくの木や猫塚が校舎に近接し、工事の難易度が高い。
⑧コスト	・ A案、B案とも建設費はほぼ同等	・ A案、B案とも建設費はほぼ同等
総合評価	○ 良好な環境を整備できるが、小学校と幼稚園の距離が遠く、幼小の連携が課題。高低差を活かした2つの園庭を整備できる。	◎ 良好な環境を整備でき、小学校と幼稚園の距離が近いこと、幼小の連携がしやすい。フラットでまとまった園庭が確保できる。
備考	※評価項目は3段階で評価 ◎良 ○可 △難あり	